



いわて県たかた

市議会だより

令和8年 第1回定例会

開会準備中



● 小友保育所のこどもたちと議員

岩手県陸前高田市議会

● 編集／議会だより編集小委員会

No. 136

発行日

令和8年4月15日

一般会計総額179億 2500万円

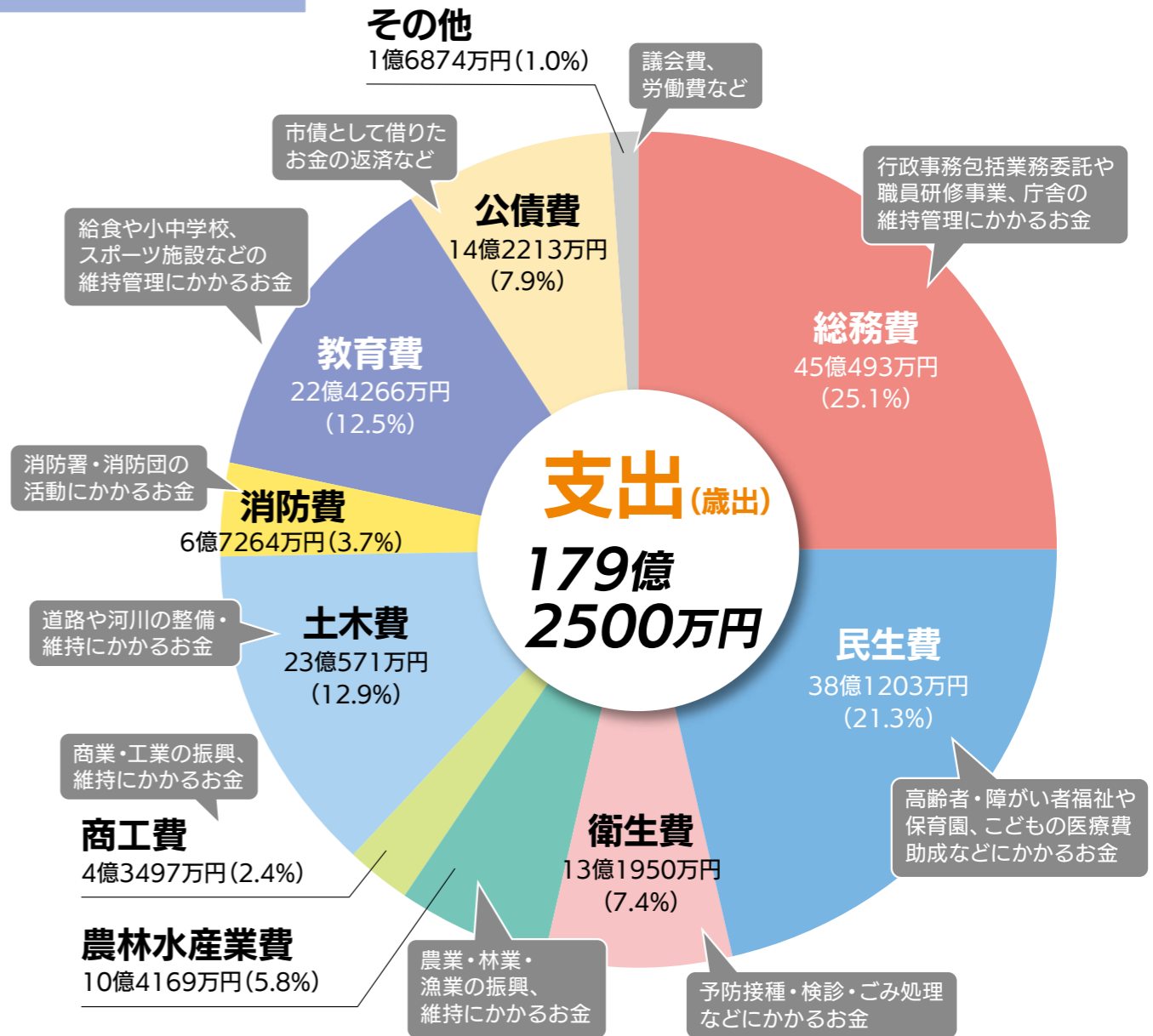
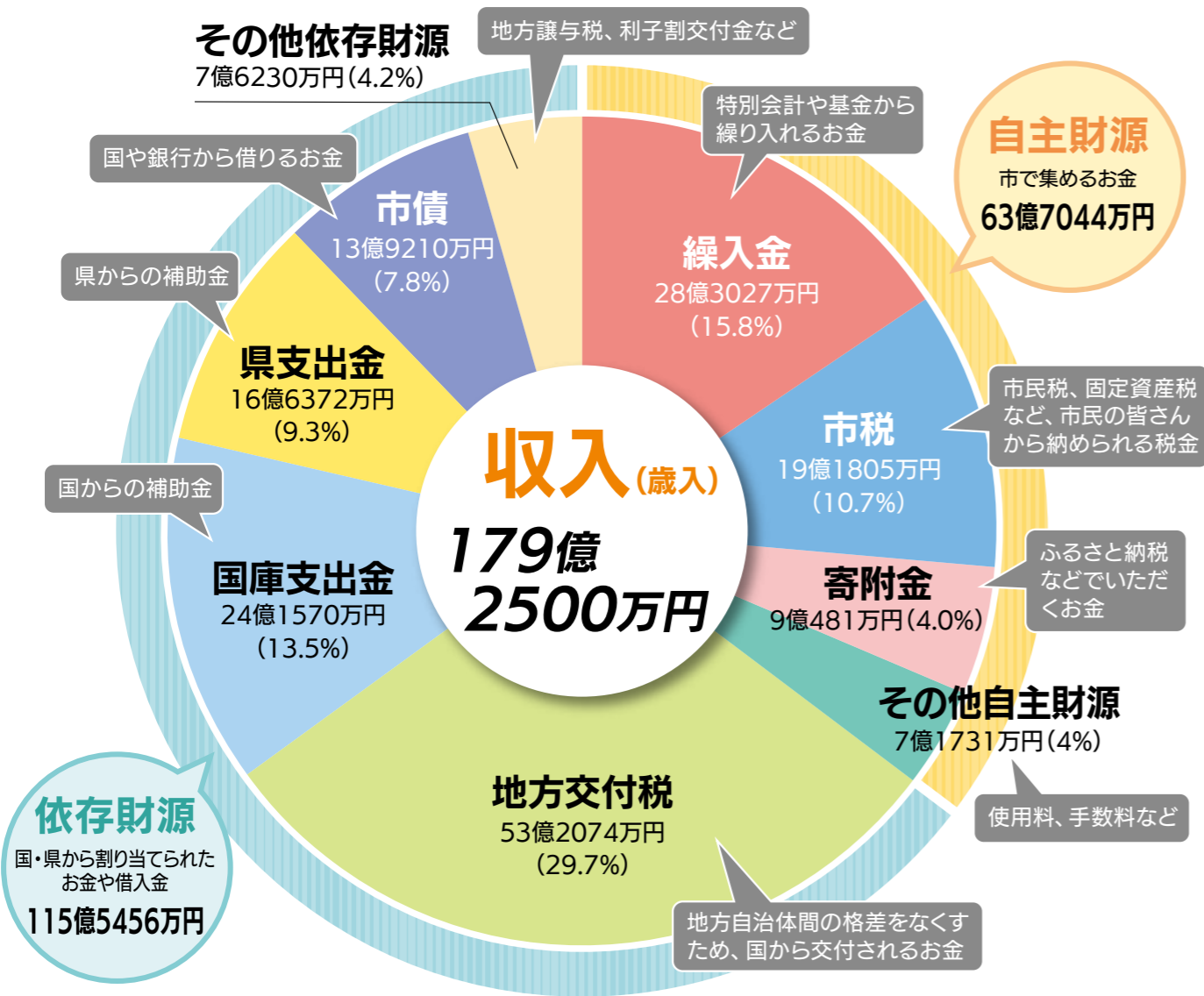
前年度比 4.4%の増

令和8年第一回定例会は2月19日から3月17日までの27日間開催され、市長提案の条例案をはじめ令和8年度予算案など合計24件が審議されました。

令和8年一般会計予算案は総額179億2500万円となり、前年比4.4%の増となりました。

- ふるさと納税は9億円を見込む
- 二又地区公共施設整備事業開始
 - コミュニティセンター
 - 消防団矢作分団1部屯所
 - 二又診療所

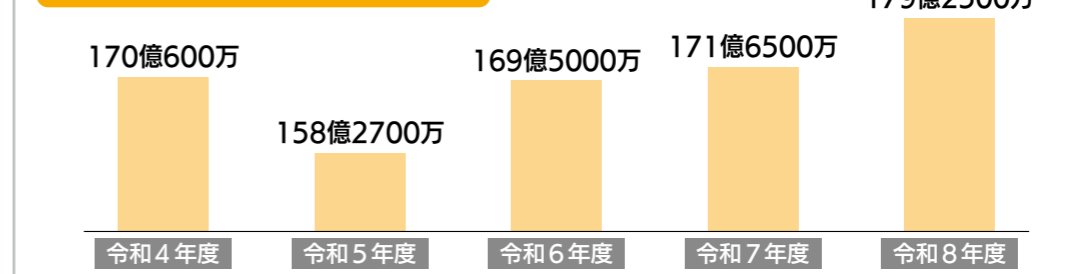
予算の内訳



一般・特別会計	会計区分	一般会計	特別会計		
			国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険
	予算額	179億2500万円	25億9842万円	3億3642万円	24億8425万円
	前年度比	+7億6000万円	-2億8996万円	+3379万円	-1409万円

企業会計	水道会計		下水道会計		
	収入的収支	資本的収支	収入的収支	資本的収支	
	収入	6億358万円	2億8893万円	10億1285万円	2億3123万円
	支出	5億8560万円	4億8561万円	8億1119万円	5億6635万円

5年間の一般会計当初予算の推移



令和9年度の完成へ

二又診療所新築工事費

2億9988万円

矢作地区コミュニティセンター新築工事費

3億316万円

矢作分団第1部消防屯所建築工事費

7894万円



蓄電池に補助事業

蓄電池に補助率2/3、上限40万円を補助。

EV・充放電設備に補助事業

電気自動車や充放電設備に各10万円補助。

100万円



子育て応援在宅育児支援金

在宅で3才未満の児童を養育し、育児休業給付金を受給していない保護者に児童一人当たり月2万円を支給。

526万円



市立博物館被災資料修復・保管事業費

大震災で被災した博物館資料の安定化処理や、修復に要する費用を基金として積み立てを行う。

8億8495万円



道路等包括管理業務委託料

市道の維持管理を市内建設業者等の団体に包括して委託。

1億8151万円



産学連携研究開発等推進事業費

本市と連携協定を締結している大学の教授などに対し、本市に滞在して行う研究活動費を助成。

300万円



新規 令和8年度 予算 注目事業

第1回定例会では、予算等特別委員会を開催し、審査しました。その中で注目される新規事業を紹介します。

予算額は、令和8年度のみのものであり、全体事業費ではありません。複数年事業もあります。

児童生徒学校適応支援事業費

児童生徒の学校適応のため中学校内に教育支援センター支援員配置。

1864万円



コミュニティ支援業務委託料

市内3つの公営住宅に対して自治会支援を行う。

382万円



ここが聞きたい

予算審査〈質疑〉

予算等特別委員会

令和8年度の一般会計、及び各種特別会計・企業会計の予算案は、予算等特別委員会（委員長・藤倉泰治議員）で、2月27日から3月10日までの5日間、審査しました。市政全般に渡り、多くの質疑がありました。その中から、一部を紹介します。予算等特別委員会の最終日には、財政調整基金の繰り入れなどについて議員間討議が行われ、財政調整基金の考え方などについて議論されました。



申請書記入の省略が期待される窓口

書かない窓口システムとは？

問 書かない窓口システムとはどのような事業か。
答 窓口でマイナンバーカードや運転免許証を読み取ることで、氏名や住所などの情報が自動入力され、各種申請書への記入が不要となる。また、自宅などからスマートフォンを使って事前に申請書を作成できるようになる。なお、従来の手書きによる申請書についても引き続き設置する。

中学校の部活動は？

問 部活動地域展開推進事業の事業内容は。
答 生徒数の減少に伴い、学校として部活動のチームが成り立たなくなったので、市公認のクラブチームを編成したい。
問 市内だけでは人数が足りず活動できないクラブもあるのでは、市外からの参加



市公認のクラブチームへ

と併せた活動の継続はどうか。
答 市公認クラブであれば補助金対象になる。

財政調整基金繰入金の見通しは？

問 財政調整基金の繰入金が12億円という大きな額となっている要因は。
答 各事業の内容を精査し



議員間討議の様子

た結果、必要な事業の実施に要する財源を確保するため、不足する歳入について財政調整基金を取り崩して対応したため。
問 財政調整基金の繰入額は、令和6年度が8億円、令和7年度が10・8億円、

貝毒検査補助の増額は？

問 カキ養殖でのへい死などが深刻であり、漁業者支援に貝毒検査費用の補助増額が必要ではないか。
答 検査費用が百分の一になる技術が開発される見込みだ。
問 その検査方法が始まるまでは、暫定的に補助をもっと積極的に行ってはどうか。



貝毒検査が義務付けられているカキ

市内の全消防屯所へのエアコン設置は？

問 全屯所にエアコンを設置するの。
答 全屯所33カ所中、未設置11カ所へエアコンを設置する。



エアコンが設置される既存消防屯所

今年度は12億円と増加傾向にある。今後の見通しは。
答 歳入・歳出それぞれに影響する要因があるため、現時点で明確な見通しを示すことは難しいが、今後は事業の精査などを行い、財政調整基金からの繰入額の縮減に努める。

答 新たな検査方法の確立前にさらなる検査費用支援を行いたい。



感震ブレイカー設置への支援は？

問 大きな地震の際に電気を遮断する感震ブレイカー設置への支援は。
答 感震ブレイカーもリフォーム補助の対象とする。また、8年度からはアスベスト検査とエアコン設置もリフォーム補助の対象とする。



令和8年第1回定例会提出議案

(専決処分1件、認定1件、条例8件、補正予算5件、予算5件、契約2件、議員発議1件、その他1件)

- 議案1 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算(第7号)の専決処分について
衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行のための補正予算
- 議案2 陸前高田市過疎地域持続的発展計画の策定について
- 議案3 市道路線の認定について
- 議案4 陸前高田斎苑火葬炉等改修工事の変更請負契約締結について
高圧ケーブル等の取り替えに伴う電気設備工の増
- 議案5 市道狩集久連坪線歩道整備工事の変更請負契約締結について
- 議案6 令和7年度陸前高田市一般会計補正予算(第8号)
- 議案7 令和7年度陸前高田市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- 議案8 令和7年度陸前高田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 議案9 陸前高田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例
- 議案10 陸前高田市小規模給水施設設置条例の一部を改正する条例
- 議案11 陸前高田市国民健康保険条例の一部を改正する条例
国民健康保険税の税率引き下げに係る改正
- 議案12 陸前高田市介護保険条例の一部を改正する条例
- 議案13 文化財保護条例の一部を改正する条例
文化財保護審議会を設置するため
- 議案14 陸前高田市火災予防条例の一部を改正する条例
- 議案15 被災資料修理技術開発基金条例
- 議案16 令和8年度陸前高田市一般会計予算
- 議案17 令和8年度陸前高田市国民健康保険特別会計予算
- 議案18 令和8年度陸前高田市後期高齢者医療特別会計予算
- 議案19 令和8年度陸前高田市介護保険特別会計予算
- 議案20 令和8年度陸前高田市水道事業会計予算
- 議案21 令和8年度陸前高田市下水道事業会計予算
- 議案22 陸前高田市国民健康保険条例の一部を改正する条例
子ども・子育て支援納付金課税のため
- 議案23 令和8年度陸前高田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 発議1 議案第16号令和8年度陸前高田市一般会計予算に対する附帯決議案について

【採決状況一覧】

※「○」は賛成、「×」は反対、「欠」は欠席、「議」は議長のため採否に参加せず。

	佐々木良麻	菅野秀一郎	小林卓	木村聡	大和田加代子	中野貴徳	伊勢純	佐々木一義	大坂俊	菅野広紀	大坪涼子	福田利喜	藤倉泰治	伊藤明彦	鶴浦昌也	及川修一
議案第1～15号 議案第17～21号	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第16号	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	×	○	○	○	○	議
議案第22号	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	×	○	×	○	○	議
議案第23号	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	×	×	×	○	○	議
発議第1号	○	×	×	○	×	欠	○	○	×	×	○	×	○	×	×	議

令和8年度国民健康保険税

1人平均引き下げ

15,000円

一般会計予算は賛成多数で可決

令和8年度の一般会計当初予算案は、歳入歳出それぞれ179億2500万円で、前年度比7億6000万円(4.4%)の増としました(2～3ページ参照)。審議に当たっては、賛成と反対の討論を行い、起立採決の結果、賛成12、反対2の賛成多数で可決しました。当初予算可決後、木村聡議員が付帯決議案を発議。予算編成に当たっては「過度に財政調整基金に依存しないよう留意すること」のほか、「事務事業評価の早期再開を含めて歳出の精査に努めること」を求めました。起立採決の結果、賛成6、反対8で否決しました。

国保税ひとり15,000円軽減

本市の国保基金を活用し、国保被保険者一人当たり平均15,000円の負担軽減を含む条例改正案を可決しました。

国保税追加提案も可決

国は、少子化対策の一環で子ども・子育て支援金制度を導入するに当たり、財源として健康保険料に上乗せ徴収することにしており、本市も国保税の税額を変更することにしました。関連する条例案と補正予算案に対して反対討論が行われましたが、起立採決の結果、賛成多数で可決しました。


なお、前述の賛否が分かれた議案を除く20件は、議員全員が賛成し全会一致で承認・可決。一般質問には9人の議員が登壇しました。

このほか、一般会計当初予算に関し、財政調整基金からの12億円繰り入れを巡って議員間討論を行いました。

討論

一般会計
反対討論

伊勢 純



新年度予算と市長公約の実現には、深い溝がある。

一般会計
賛成討論

大和田 加代子



大学との連携による産業振興という新しい取り組みが期待感を与えてくれた。

一般質問

我が市政を問う!

鵜浦昌也
(創生会)

市長の政治姿勢
移住・定住施策
DXの取り組み

菅野秀一郎
(創生会)

施政方針演述
陸前高田市における選挙の投票

大和田加代子

大学誘致
指定管理者制度

福田利喜
(創生会)

産業の振興と働く場の確保
関係人口の創出
今後の教育環境

伊勢 純
(日本共産党)

本市の防災・減災
人口減少時代の生産性向上策
自治会活動のサポート体制

大坪涼子
(日本共産党)

本市独自の物価高騰対策及び生活支援策の強化・拡充
本市の震災学習・民泊事業の今後
AIオンデマンド交通などの地域公共交通

藤倉 泰治
(日本共産党)

市長の政治姿勢
本市の財政調整基金
国民健康保険税の負担軽減
施政方針演述

佐々木良麻
(こつほく未来創生)

ウオーカブルシティ
大学誘致

木村 聡
(こつほく未来創生)

陸前高田市人口ビジョン及び第3期陸前高田市総合戦略の策定
陸前高田市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度
施政方針演述



鵜浦昌也
(創生会)

次期市長選の考えは

信任得られるよう励む



こちらから視聴できます

問 市長の現任期が一年を切った。この三年間を自己評価した上で、次期市長選についての考えは。

答 評価については自分が行うのではなく、市民に一年後、より高い評価をしてもらうよう、引き続き全力で取り組む事が大切だと思っている。市長選への出馬については「白紙」ではなく、市民の信任が得られるよう、残りの任期を精一杯仕事に取り組んでいきたい。



議場での市長席

問 新年度予算の目玉は。

答 主なものは子育て支援、そして地域産業の振興に向けた産学連携に関する取り組みを始めることだと考えている。しかし、それ以外の福祉、教育、産業振興、コミュニケーションづくり、まちづくり、交流人口の拡大なども前年に引き続き進めていく。

問 国政に何望む

答 総選挙を経て、今後の国政に望むことは、東日本大震災から15年を迎え、被災者や被災地への支援を「時間が経ったからやめる」「既に予算をたくさん使ったからやめる」ではなく、第3期復興創生期間でも、必要な支援はしっかりと国の責任を持って行ってほしい。



菅野秀一郎
(創生会)

電子投票の導入予定は

意見聞き選管で検討する



こちらから視聴できます

問 直近の国政選挙でアバッセにおける期日前投票の効果は。

答 参院選は1736人だったが、衆院選は2532人に増加。市民への認知度が高まった。

問 電子投票を導入する予定は。

答 市産業まつりで200人中195人が模擬投票アンケートに「良かった」と回答。今後、高齢者施設などでも行い、多くの体験者の意見を基に市選挙管理委員会などで検討を進める。

問 本丸公園の避難対策は

答 本丸公園に避難する際、市は暑さや寒さ対策用のテントを整備するが、仕様と管理体制は。

問 避難所に常備するテントとほぼ同等。備蓄倉庫を設置し、鍵の解錠は博物館、アバッセ、まちなか会などに協力を仰ぐ。夜間の対応は、消防署や消防団と協議している。

問 テント整備より、公園がらさらに高台方面への避難路整備が重要ではないか。

答 避難路整備も進めるが、屋外指定避難所も対象となる国の新制度を活用し、市の支出を抑えて避難用備蓄品整備も進めていく。



電子投票に使用される端末機



大和田加代子

大学誘致の効果は

持続可能な発展につながる



こちらから視聴できます

問 本市への大学誘致の効果は。

答 学生でまちが賑やかになり、学生アルバイトで市内飲食店が助かる。大学や本市全国の企業が連携して活動することにより、産業や研究開発などの拠点となることなどが期待できる。

問 子どもたちへの影響は。

答 本市には高校卒業後の学校がないので、身近なアドバイザー的な存在がない。大学生がこのまちで活動することにより、進学や職業選択、大学生としての生活の在り方、キャリアの積み方など、学ぶ点が多いと思う。

問 本市と東京大学生産技術研究所と同大学院農学生命科学研究科で先端技術による地方創生に関する連携協力



東大及び同大学院との協定締結後に行われたピーカンナッツの植樹

問 協定を結ぶとのことだが、大学の研究者、研究機関が本市にあることの効果は。

答 日本の生産技術は欧米に比べて遅れている。水産業で言えば沿岸漁業の省人化機械など、現場に即した開発が取り残されている。中央大学、東京大学などの研究者がその生産現場を見て、課題解決のための指導や研究開発を行うことは、本市だけではなく、この地域全体の持続可能な発展につながる。



たけだし 喜 (創生会)

二十歳の意見どう反映 魅力ある職場数増に努める



こちらから視聴できます

問 二十歳のつどいのアンケートでは、半数近くが「職場や職種の選択肢」が市内に不足していると答えていた。この結果をどう認識し、施策に反映するか。

答 若者が望むような職場が少ないことはやむを得ない面があるが、若者が働きたいと思う魅力あふれる職場を一つでも多く作るよう努める。

問 職場を行政の中に作ることも一つの方法ではないか。

答 前例にとらわれず、柔軟に考えなければならぬと考える。動向を見ながら、必要に応じて国や県に意見を述べたい。

問 学習のつまぎきは小学4年生は学習内容が抽象的になり、学習でつ



学習のつまぎきが始まる小学4年生

答 今小学校3、4年生の授業には注力しているが、つまぎも見られることから引き続き力を入れていく。

まずケースが見られ、「小4の壁」といわれている。標準学力検査でも本市児童の状況は国の平均に達していない。この時期の教育環境を見直す必要があると思うがどうか。



いせ 純 (日本共産党)

公営住宅の自治会支援は 専門家の継続配置など行う



こちらから視聴できます

問 公営住宅における自治会運営の具体的な支援策は。本年2月に災害公営住宅自治会から支援継続の要望を受け、各地域に携わった専門家を含めた支援コーディネーターとともに住民同士の対話を促す話し合い支援補助員の配置などを行う。

答 公営住宅における自治会運営の具体的な支援策は、本年2月に災害公営住宅自治会から支援継続の要望を受け、各地域に携わった専門家を含めた支援コーディネーターとともに住民同士の対話を促す話し合い支援補助員の配置などを行う。



市営住宅 (高田町)

問 産業の機械導入は漁業・農業・林業分野の機械導入に対する国、県の市の本年度の助成金活用状況は。

答 漁業では、市の水産業省人・省力化機械普及事業を創設し、インカゲ貝養殖容器保護シート洗浄機の導入2件に計100万円を助成。農業では、県の地域農業計画実践支援事業で水稲の乾燥機器の導入など2件に計1249万円、市の農業用機械設備等導入事業で田植え機、コンバインの導入など16件に計688万1千円を助成。林業では、森林組合に県の木材産業国際競争力強化事業でプロセッサの導入1件に1302万4千円を、また、市の林業担い手対策事業で空調作業服、無線機の購入など1件に20万3千円を助成している。



おおつば りょうこ (日本共産党)

独自の物価高対策は 特化した予算措置はない



こちらから視聴できます

問 物価高騰により市民生活や地域経済は深刻であり、新年度予算での対策は。

答 すでに国の重点支援交付金2億8千万円を活用して支援を進めていることから、当初予算では物価高騰対策に特化した予算措置は行っていない。本市独自の対策としてタクシー券の交付を増やしてはどうか。

答 ひと月当たり一律一枚増やす。



枚数増となるタクシー券 (見本)

問 配食サービスを高年齢者のいる世帯に対象拡大する考えは。

答 見守り事業なので難しい。子ども基本条例もでき、保育料完全無償化はどうか。令和8年度の実施は見送る判断とした。

問 民泊事業の現在の実施状況は。

答 令和7年度23団体、3196人が訪れている。

問 震災学習と民泊事業の重要性は増している。市として今後の課題と展望はどうか。

答 受入家庭の数が課題であり、令和8年春から気仙管内の団体等の協力も聞く。安定した受入体制のためNPO法人と連携し受入家庭確保に努める。



ふじくら たいじ (日本共産党)

大学誘致はFWか 選挙時には浮かばなかった



こちらから視聴できます

問 三年前の市長選挙公報に「大学を誘致」とあるが、市長の考えは当初から公共施設活用のフィールドワーク(FW)だったのか。

答 選挙時には思い浮かべていなかった。後半になってイメージができてきたが、市民に説明する時間が足りなかった。

問 公約が変わったと市民に説明すべきではないか。

答 今回の施政方針で示した。本市に市立大学のようなものを建てることではない。

問 市長が「実現可能」と言っていた農林水産業生産額倍増の公約の現況はどうか。

答 公約の達成状況は任期末までに新たな展開が見えるかもしれない。まさに次の選挙の争点になる。その時に向けて理論武装の在り方も考える。



一次産業が本市の基幹産業

後援会問題は 市長自身の後援会の政治資金収支報告書未提出に

問 市長自身の後援会の政治資金収支報告書未提出に対する考えはどうか。

答 私の反省は2年間「ただ忘れていた」という会計の関係者をお願いしていたこと。弁護士によれば、私は後援会に関与していない「部外者」であるとの説明を受けた。

総務

管外行政視察

総務常任委員会は1月26日から28日まで、長崎県五島市と長崎市で脱炭素先行地域の行政視察を行いました。

五島市は、洋上風力や太陽光など豊かな再生可能エネルギー資源を生かしたゼロカーボンシティを表明。市を挙げてエネルギーの地産地消、脱炭素に取り組んでいます。

また、現在約30億円が九州電力の電気料金として地域外流出しているため、地域内経済循環を進めていました。また、メガソーラーの現地調査では、全国的な問題となっている太陽光パネルの廃棄処分について視察。廃棄ではなく、再利用

管外行政視察

1/26 ▶ 1/28
 ・長崎県五島市
 ・長崎県長崎市

所管事務調査

2/19 会期中の所管事務調査について
 管外行政視察報告書について

3/13 脱炭素先行地域計画の進捗業況について（現地調査）
 管外行政視察報告書について



再生可能エネルギーの説明を受ける

するリユース対策の説明を受けました。

さらに、藻場を活用したカーボンニュートラル促進事業について説明を受けました。

長崎市は、地元企業7社と地域新電力(株)ながさきサステナエナジーを設立。市が筆頭株主として35%を出資しています。加えて、メガソーラーと市が運営する2か所のごみ発電による電力を、市庁舎と市立小中学校などの合計157の施設に供給する、いわゆるエネルギーの地産地消を行っています。

本市の取り組みと重なることも多く、今後に生かしていくことを確認しました。



船上から洋上風力発電を視察



管外行政視察報告書はこちらでご覧になれます

- | | |
|-------|---------|
| 委員 長 | 藤 倉 泰 治 |
| 副委員 長 | 佐々木 一 義 |
| | 菅 野 広 明 |
| | 伊 藤 明 昌 |
| | 鶴 浦 昌 |



さ さ き りょう ま
 佐々木良麻
 (とうほく未来創生)

歩きたくなる街づくりは

本市が目指すものと合致



こちらから視聴できます

問 国は、居心地が良く歩きたくなる街・ウォーカーシティを推進している。本市の考えはどうか。

答 人口減少が進む社会において、コンパクトで持続的な都市構造を形成していくことは重要である。これまで整備してきた中心市街地の基盤を生かしつつ、ウォーカーシティの目的である、ひと中心の空間を創出することは、本市が目指すまちづくりと合致すると認識している。

問 国はウォーカーシティの推進に併せ、歩行者の利便増進のため歩道等の占用を認める「ほこみち」制度や固定資産税の減税措置を実施しているが、本市での活用はどうか。

答 ほんまる茜市の開催と併せて道路の一部を長期間



ほこみち制度を活用して整備された風待ち広場（気仙沼市）

にわたり、歩行者天国とする社会実験を実施すると聞いており、「ほこみち」制度等の活用についても検討する。

大学誘致は

大学誘致の達成目標についてどう考えているか。

答 中央大学や東京大学との取り組みがより具体化すれば、どの部分が達成できているのか、またどの部分が不十分なのかも明らかになってくると考えている。



き む ら あきら
 木村 聡
 (とうほく未来創生)

出産や結婚の応援策は

環境整備に全力を尽くす



こちらから視聴できます

問 総合戦略案で婚姻数や若年女性の動向を詳細に分析した狙いは。

答 若者、特に女性のウターン者が少ないという現実がある。これらの推移を追いかけるためにも過去の分析を行った。



市総合戦略をマンガでわかりやすく

問 個人の自由を前提としつつも、行政として婚姻数等の重要指標を掲げ、出産や結婚を応援するというメッセージ

を発しては。

答 出産や結婚を誘導すると捉えられる懸念から指標設定は避けたが、結婚や育児を望む人の思いが実現できる環境整備に、市として全力を尽くす。

問 重要指標に「待機児童ゼロ」を掲げているが、指標を優先するあまり、保育料無償化が遅れることは本末転倒ではないか。

答 重要な指摘だ。待機児童をなくす努力は続けつつ、仮に一定数発生しても無償化に踏み込むべきとの考えに立ち、担当部局と前向きに調整していく。

問 パートナリシップはパートナーシップ制度について地域の雰囲気は。各種説明会や男女共同参画の会議で話題となり、関心も寄せられている。

教育民生

管外行政視察

・愛知県豊田市、大府市等

1/26 ▶ 1/28

所管事務調査

2/19 管外行政視察報告書について
会期中の所管事務調査について

3/13 「陸前高田市子ども・子育て支援事業計画(第3期)」について
管外行政視察報告書について
陸前高田市子ども基本条例に係るリーフレットについて



大府市で子育て支援策を学ぶ



管外行政視察報告書は
こちらでご覧になれます

委員長	佐々木	良	麻
副委員長	大坪	涼	子
	小福	利	卓
	及川	修	喜
			一

管外行政視察

教育民生常任委員会は1月26日から28日にかけて、愛知県の豊田市と大府市を訪れ、管外行政視察を行いました。

豊田市では、国連の子どもの権利条約の理念に基づき、「ユニセフが推進する日
本型子どもにやさしいまちづくり事業」に
取り組んでいます。子ども条例を基盤に
子ども総合計画や子ども会議、権利相談
体制などを組み合わせ、こどもの権利を
行政施策に反映する仕組みを整備してい
ました。

昨年、本市では議員発議により「陸前
高田市子ども基本条例」を制定しており、
条例の理念を具体的な施策へとつなげて
いく取り組みとして大いに参考となる内
容でした。

管外行政視察

大府市では、結婚、妊娠・出産から子
育て、教育、若者支援までのライフステー
ジに応じた施策を体系的に整理し、「お
おぶこども輝く未来応援八策」として事
業を展開していました。

市民が利用できる制度を分かりやすく
伝えるため、子育てガイドブックの作成
など情報発信にも力を入れており、こど
も・若者施策を総合的に推進しているこ
とが特徴的でした。本市においても、施
策の分かりやすい整理や情報発信につい
て検討する必要があると感じました。

所管事務調査

前述の管外行政視察の内容を踏まえ、
3月13日に市役所で陸前高田市子ども・
子育て支援事業計画(第3期)の内容につ
いて市当局から聞き取る所管事務調査

産業建設

所管事務調査

産業建設常任委員会は1月30日、市コ
ミュニティホールで「中小企業・小規模企
業振興条例を活かした地域づくり」をテー
マとした研修会を行いました。講師の京
都橋大学岡田知弘学長が全国で展開され
ている同様の条例による地域経済循環の
発展事例について説明。委員外議員のほ
か、市内の商業・金融業の事業者も参加
しました。(詳細は20ページ参照。)

管外行政視察

・北上市
・青森県八戸市
・山田町

2/4 ▶ 2/6

所管事務調査

1/30 中小企業・小規模企業振興条
例を活かした地域づくり

2/19 会期中の所管事務調査について
管外行政視察報告書について

3/13 管外行政視察報告書について
視察内容に伴う要望事項案につ
いて



DMOについて学ぶ

委員長	菅野	秀一郎
副委員長	伊勢	純
	木村	聡
	大和田	加代子
	中野	貴徳
	大坂	俊



管外行政視察報告書は
こちらでご覧になれます

管外行政視察

本委員会は、2月4日から6日につ
いて(1) (社) 世界遺産平泉・関DMO(関
門市) (2) 北上市(3) 青森県八戸市(4) みろく
横丁株式会社(八戸市) 及び(5) 山田町で
行政視察を行いました。視察概要は次の
通りです。

管外行政視察

(1) 観光地域づくりの取り組みと、
ふるさと納税や商品開発など
による地域ブランド化について

(2) 空き家対策事業における補助制度や今
後の空家対策計画改定などについて

(3) 八戸ポータルミュージアム「はっち」及び八
戸まちなか広場「マチニワ」において、中心
市街地の賑わい創出と歩行者を最優先に
こだわった回遊性のまちづくりについて

(4) まちなかにある屋台村の特徴と管理運
営について

(5) 住宅リフォーム補助金やエアコン設置補
助金などについて

視察先の各政策は、優れた実践例であ
り、政策提言に反映させるべき学びとな
りました。



山田町庁舎屋上から建物の復興状況を視察

物価高騰対策など 3億4500万円を追加補正



プレミアム商品券発行に
1億9600万円

水道料金減額へ
5100万円

国の物価高騰対策を受け、補正予算案2件を可決

プレミアム商品券の発行、市民生活に直結する水道料金対策に加え、燃油高対策として公共交通機関への支援、介護福祉施設への支援が主な内容となった。



4月18日
発売予定の
プレミアム商品券

令和8年第一回臨時議会は1月19日に行い、令和7年度一般会計補正予算案など2件を原案通り可決しました。

補正予算は、歳入歳出にそれぞれ3億4590万円を追加し、総額を190億4277万円としました。

歳入は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金などに加え、財政調整基金から2349万円を繰り入れました。

歳出は、市内消費拡大支援事業

に1億9600万円、水道料金支援事業に5112万円、本市出身学生支援事業に500万円など、計13の物価高騰対策事業に配分されます。

このうち、市内消費拡大支援事業は、プレミアム商品券発行に係る費用で、発行団体である陸前高田商工会に全額補助します。水道料金については、令和8年3月から1年間基本料金を500円減免するものです。

物価高により生活環境に大きな影響を受けていると見られる本市出身の大学生や専門学校生には、本市とのつながりを再認識してもらいながら安心して学生生活を送れるよう支援します。

議員からは想定する学生数や連絡手段などについて質問。当局は市内卒業生のデータなどから300人程度と把握しており、「市HPやSNSのほか、あらゆる手法で周知に努めていく」との答弁がありました。

議会と語る会

陸前高田市議会は、1月20日、「議会と語る会」を開催しました。今回は市役所6階にある市議会の本会議場を会場に今後開催していく市民の方々の懇談の場の初回として実施しました。対象は市内11地区のコミュニティ推進協議会とし、役員など20人に参加いただきました。



初開催

議場を会場にコミセン役員との意見交換会

参加者からは、人口減少や高齢化に伴う自治会運営の担い手不足かさ上げ地の雑草問題、小学校の適正規模化などについて意見が出されました。また、議会だよりについても意見が寄せられ、「過去の語る会で出された意見が紙面で十分に紹介されていない」との指摘がありました。これに対し、福田利喜議員は「議会だよりは、編集小委員長は「議会だよりは詰め込みすぎず、読みやすい紙面づくりを目指し

る会で出された意見が紙面で十分に紹介されていない」との指摘がありました。これに対し、福田利喜議員は「議会だよりは、編集小委員長は「議会だよりは詰め込みすぎず、読みやすい紙面づくりを目指し

ている。議会だより以外の方法でも市民と共有できる仕組みを検討していきたい」と回答しました。今回の語る会は、各地区が抱える課題を全体で共有する機会となりました。市議会では、今後市内のこともたちによる模擬議会「子ども議会」など、さまざまな年代の方々を対象に、本会議場を活用した語る会を企画していきたいと考えています。



参加者全員で記念撮影

産業建設常任委員会研修会

講師を招いて市内企業・団体とともに

地域内経済循環を学ぶ



産業建設常任委員会は1月30日、市コミュニティホールで「中小企業・小規模企業振興条例を活かした地域づくり」をテーマに、所管事務調査を行いました。

今回は、委員外議員のほか、商工会や銀行、まちなか会などにも参加を呼び掛け、昨年6月に制定した「中小企業・小規模企業振興条例」を広く知ってもらい、活用に向けた醸成を促す取り組みとして調査しました。

講師の京都橘大学学長・京都大学名誉教授の岡田知弘氏から「地域を豊かにするとは」、「という切り口で地域内再投資力と地域内経済循環の重要性について講義を受



講師の岡田知弘氏

けました。

その中で、岡田氏は古くから近江商人に言われる、売り手よし、買い手よし、世間よしの「三方よし」の原則をもとに、他市の事例などを紹介。条例を制定することで、首長や行政実務担当が交代したとしても、自治体としての組織的な地域づくりの取り組みが、法的裏付けのもとに系統的展開ができることを強調。条例をいかけた今後の展望も学ぶことができました。

また、条例をもとに中小企業の実態調査をし、具体的施策を展開していく事で効果を生み出していかなければならず、「単なる宣言条例に終わらせては意味がない」とも述べました。

最後に「足元の地域経済社会を元気にする主役は地域の中小・小規模企業。ただし、主体的に動いてこそ、真の意味での主役とな

る」と締めくくりました。今回の調査で、委員会として改めて、この条例をもとに主体性を持った政策提言していく必要性を感じました。



講師に質問する参加者

議会だより編集小委員会行政視察研修

議会だより編集小委員会は、議会だよりが市民と議会を結ぶツールとしてより良いものとするため、1月14日から15日まで先進自治体である埼玉県北葛飾郡杉戸町と、全国の議会だよりに携わっている(株)会議録センターを訪問し議会だよりの編集方針や基本的な編集技術などを研修しました。

杉戸町では議会だよりの表紙から驚かされました。まるでファッション誌を思わせるようなデザインとロゴがローマ字であるなど一般的なイメージとは大きくかけ離れるものでした。杉戸町議会の編集委員会は1期目、2期目の議員で構成しており、紙面を大きくリニューアルしたとのことでした。その理由は「『えっ、これなに?』とま

ずは手に取ってもらいたい』ことを主にしたという事で、最近発行されたものはどれも表紙で引き付けるものになっていました。また、様々な人の手に取ってもらいたいよ

うに市内の病院などにも置いていくということでした。

会議録センターは、本市議会でも議事録の作成業務を委託しているところですが、議会だよりの編集にもアドバイスや、コンテンツのようなものを開催するなどしており、今回は技術的な指導を受けてきました。会場となった会議室には全国の市町村議会が発行している議会広報が並べてあり、実際のレイアウトを勉強することができた研修となりました。この研修の成果を生かし、市民に何を伝えるかも考えながら議会だよりの発行を行っていきます。

斬新なデザインの杉戸町議会だより



絆まつり

名古屋市との友情の象徴

震災後から続く名古屋市と本市との交流を象徴した「絆まつり」が2月22日、一本松ホールで開かれました。これまでは名古屋市で行われてきたもので、今回初めて本市で開催され、ステージ発表やキッチンカーの出店に多くの人が賑わいました。両市は、平成24年に絆協定を締結し、中学生の相互訪問交流をスタートさせました。今イベントの実行委員会は中学生交流の参加者が中心となって組織されています。

会場では名古屋市の広沢一郎市長が佐々木拓市長へ、名古屋市で育てられた一本松の「孫」を手渡し、今後も絆を深めて行くことを確認し、太鼓演奏、歌や踊りが披露されました。

さらに、絆協定による交流のテーマソング「未来への翼」の新たな映像が発表され、実行委のメンバーやイベントの出演者らがステージに並び、美しい合唱を響かせました。

また、本市議会と交流があり、震災後「心に花をプロジェクト」として陸前高田市役所仮庁舎前をプラントの花々で彩る活動を続けてこられた名古屋市会カーデニングクラブの会長のふじた和秀議員はじめ11人の議員も会場に駆けつけ、イベントを盛り上げました。



「未来への翼」ミュージックビデオは、こちらから視聴できます。



議会と市民の交流コーナー

市議会では、広くご意見をうかがうため、市民のみなさまへクイズを出しています。第135号のクイズの答えとともに寄せられたご意見の一部を紹介します。



交流コーナーの意見、最近幅広い年代が見受けられ嬉しいです。若い方の思いが知れました。これからもどんどん意見が出るよう望んでいます。(高田町女性 80代)

まちづくりの方向がもう少し早く決まれば、若者がまちに残ったのでは。10年先、100年先の陸前高田市を考えて進めてほしい!(気仙町男性 70代)



市議会だより毎月楽しみに拝見しています。陸前高田市がよりよいまちになる様、陰ながら応援しています。一本松の陸前高田市が全国に誇れるまちになる事を願っています。(広田町女性 70代)

一度議会を傍聴したいと思いながら、一度は是非。(高田町女性 70代)



一般質問の内容が議員同士でかぶらないようにしてください。(広田町女性 40代)



? 議会だよりクイズ

○の中にはどんな漢字が入るでしょうか?

第136号表紙の写真は ○○保育所のこどもたちです。

応募方法 クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号を記入の上、ハガキ、FAX、メールのいずれかで応募してください。また市議会だよりを読んだ感想、市議会への意見・要望などを必ず記入してください。正解者の中から抽選で5人の方に粗品をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。) ※いただいた意見要望等は次回の市議会だよりに掲載することがあります。

あて先 〒029-2292 陸前高田市高田町字下和野100 陸前高田市議会事務局 宛
FAX 0192-53-1210 MAIL (こちらのメール送信フォームをご利用ください。)

しめきり 令和8年5月15日(当日消印有効)



議会だより第135号クイズの答え ○の中にはどんな漢字が入るでしょうか? 答え **横田**



表紙の写真

3月9日の広聴広報特別委員会開会前に委員会室を訪れた小友保育所のこどもたち。議員も思わずニコリ。

傍聴者の声



武蔵野 美和 さん
高田町在住 61歳

議会を傍聴したくても時間と日程が合わず叶わないでいました。しかし、最近は動画配信がありますので、時間をみつけては視聴しています。

今定例会の様子は、初日の本会議と予算等特別委員会を視聴しました。

初日に市長の施政方針演述が行われ、予算執行に対する思いの丈を聞くことができたのは有意義だったと感じました。一般質問と違い、かいつまんだものではなく、詳細に言葉が紡がれる重要な演述なのだと思いました。

東日本大震災から15年が経

議会を動画で視聴した感想を伺いました。

過ぎ、復興のための財源から自主財源を重視した予算組みになってきたいま、私たち市民は一人ひとりの税金がどのようになら有効に使われていくのを見届けていかなければなりません。予算規模が復興時からかけ離れていくあたりが分かりにくいのですが、身の丈に合った予算で夢を描けるまちづくりをしてほしいと思います。

予算等特別委員会の視聴の際は、資料などと照らし合わせながら聞くとう理解が深まると感じました。議会を傍聴する際は資料などは用意されているのでしょうか。

市民の声が届いているかをチェックする意味からも、機会を見つけて傍聴に行きたいと思っています。

コンプラ研修 その3

本市議会議員を対象とした第3回「コンプライアンス研修」ハラスメント予防の実態と対策について」は3月9日、前回に引き続き、崎山美智穂社会保険労務士(大船渡市)を講師に行いました。

今回は、実際に他市であったハラスメントの事例や実態調査アンケートをもとにグループワークが行われ、「私はこう思います」という自分を主語にし

全員協議会

令和8年1月以降に市当局から提出された案件をお知らせします。

- 2月19日
 - ◎陸前高田市人口ビジョン及び第3期陸前高田市総合戦略(素案)に係るパブリックコメントの実施について
 - ◎国民健康保険税の税率改定等について
 - ◎陸前高田市スポーツ推進計画

た活発な意見交換を展開しました。

その中で、「何がハラスメントになるかを知ること」「ハラスメントだと指摘し合える環境をつくること」など、条例制定も視野に、ハラスメント予防に取り組みを確認しました。

3回の研修を終えて、議員であることがすでにパワーを持っているという認識を新たにし、コンプライアンス遵守に取り組みしていくことの必要性を実感しました。

(素案)に係るパブリックコメントの実施について

◎陸前高田市地域防災計画修正案に係るパブリックコメントの実施について

◎消防団員の年額報酬に係る所得税の過大徴収について

◎陸前高田市立小中学校の在り方検討委員会について

◎条例及び補正予算の専決処分について

がんいびってます!

市内の団体や個人を紹介します。



劇団☆ばばば 団長 小林 里美さん



小林里美さん(高田町)は、陸前高田市社会福祉協議会の介護支援専門員です。日ごろの仕事と併せ、各地でユーモアを交えて健康増進に向けた演劇を披露する劇団☆ばばばの団長としても活躍しています。演劇に対して、どのような思いがあって取り組んでいるのか、話をうかがいました。

劇団☆ばばばのステージは、演じる側はとても楽しく、観客からはおもしろかったと言っているのがうれしいです。

団員には、さまざまな専門職の人たちが参加しています。医師、看護師、栄養士、介護福祉士、ケアマネジャーなど30人ほどで、現在、減塩指導、転倒予防、虫歯予防の3つの演目に取り組んでいます。

昨年秋にアバッセで、午前と午後の2回に分けて公演し、立ち見も出るくらいでした。演じる側も楽しみながら舞台を支えていますので、各地区の健康まつりなど、呼んでいただければ、どこにでも行きます。

私たちは、市民のみなさんが幸せで元気に暮らしてほしいと思っています。そのための知識を分かりやすく広めていきたいです。笑いを交えながらの演劇は、私たちの思いを伝える方法として合っていると感じています。

そうは言っても、団長には、団員の仲間から不在中に推されてまして…。断れない性格なん

です(泣)。私は、この劇団に震災直後から参加していますが、当初は大道芸など裏方の担当でした。今では女優もしていますが(笑)、これからも、福祉で活動する仲間と一緒に何かの役に立ちたいと思っています。

議会へのひとこと

今、福祉分野の人手不足も課題ですが、人材育成がもっとも気にかかることです。将来にわたり介護士が足りるのだろうかという不安から、福祉における人材育成、そのための現場での経験や技術教育をもっと補える環境づくりも進めてほしいです。



活動の内容は市公式ホームページでも紹介しています。



議会だより編集小委員会

- 委員長 福田 利喜
- 副委員長 大和田 加代子
- 委員 佐々木 良麻
- 菅野 秀一郎
- 伊勢 純
- 同 佐々木 一義

今後、持続可能なまちづくりを進めていくためにも市民の意見・ご提案の声を聞かせください。お待ちしております。(佐々木一義)

あとかぎ

今期定例会開会中、WBCで日本チームの活躍に日本中が沸きました。反面、米・イスラエルによるイランへの攻撃が始まり、その影響で原油価格が上昇し、物価高騰の嵐が市民生活を襲ってきました。

その中の令和8年度定例会。議会や行政が目指すのは市民福祉の向上です。人口減少、少子高齢化、地域経済の縮小、インフラの維持など迫りくる荒波を乗り越えていくために、当局から提案された施策を慎重に審議しました。

